

# 理科 (化合する物質の割合・基本編)

① 銅 + 酸素 → ① \_\_\_\_\_

(質量の比) ② \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

マグネシウム + 酸素 → ③ \_\_\_\_\_

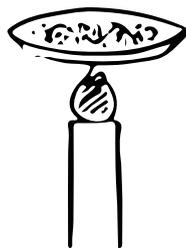
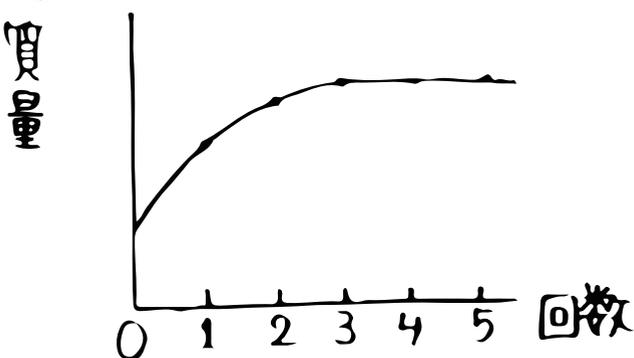
( " ) ④ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

2つの比を合わせると、

銅 : マグネシウム = ⑤ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

また、両方とも原子の数の比は ⑥ \_\_\_\_\_ :

⑦ 一つの金属 (今回は銅) をくり返し熱する!!



金属を熱するときは⑧ \_\_\_\_\_ 熱する。

その質量をはかて⑨ \_\_\_\_\_ ために

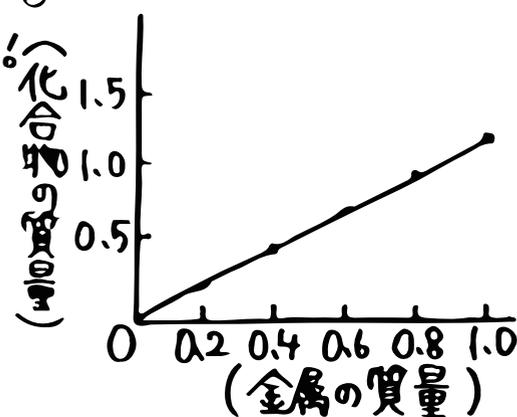
しっかりかき混ぜてくり返し熱する!

化合する酸素の質量はだんだん⑩ \_\_\_\_\_。

なぜなら⑪ \_\_\_\_\_。

左下の表を見ると⑫ 回目ですべての銅が反応したのが分かるね!

⑬ 一つの金属の質量をかえて熱する!!



金属の質量を増やすと  
化合する酸素の量は⑭ \_\_\_\_\_、  
できる化合物の量も⑮ \_\_\_\_\_。

つまり⑯ \_\_\_\_\_ 関係に  
なってることだね!

